

### 松山議員

#### 不育症について

**問** 不育症は妊娠はするが、流産や死産をたびたび繰り返す症状をいう。不育症患者の経済的負担を軽減し、大事な命が生まれてくるように応援し、不育症の方の治療を支え、出産につなげ、元気な赤ちゃんの誕生までをしつかりと支援するための不育症への公費助成制度の創設に取り組むべき。

**答** 助成事業が実施できるよう、積極的に取り組んでいく。

#### 「勝山市の防災関係」について

**問** ①災害発生時に消防団と自主防災組織が統一の活動をできるようなよう、今後どのように連携をしていくのか。

②災害図上訓練「DRUG」(ティグ)と避難所運営訓練「HUG」(ハグ)を導入して講習会や地域の防災訓練に活用すべき。

③消防団の機能別団員制度について、市としてどのように考えていくのか。

④防災教育の一環として、学校に宿泊しての「防災キャンプ」を取り入れてはどうか。

その他の質問  
・ジオパークについて

**答** ①通常時でも地元消防団が各種防災訓練へ積極的に参画してもらうなど、自主防災組織と綿密に連携し、充実した防災体制の構築に努力していきたい。

②まずはこれら訓練の指導ができる人材の養成を行い、その後各方面に広めていけるよう取り組んでいく。

③消防職団員OBによる火災防ぎよ活動、大規模災害活動の特定の活動に参加する機能別団員構築等を考慮に入れ、将来にわたり勝山市の防災力の低下がないよう準備、研究をしていきたい。

④学校とも協議していきたい。



### 乾議員

#### 九頭竜ダムの耐震性について

**問** 上流のダムのおかげで水害の心配が非常に少なくなっている。しかし、先の東日本大震災の教訓もあり、大水害を想定した場合、最初に心配されるのは九頭竜ダムの決壊である。はたして震度ほどの程度まで大丈夫なのか。専門家の想定外という言葉はもはや防災において禁句になってしまった。万が一の危険が想定される場合の緊急対応や当市への連携体制、市民への周知はどうか。

**答** 濃尾断層帯で最大規模の直下型地震を想定したシミュレーションの結果、ダムの運用に支障はないとのことである。

また、震度4以上の地震が発生した場合は漏水などの点検を行い、万一の緊急事態にはFAXに加え、電話でも市に連絡が来る。市はその情報を受け、様々な手段で市民に情報提供を行っていく。

#### 永平寺、上志比間のバイパス道路について

**問** 永平寺、上志比間のバイパス道路の工事が轟駅あたりまで順次完

その他の質問  
・産官学連携の推進について  
・中央公園整備に関するアンケート結果について

成している。一方、平成24年度に中部縦貫自動車道大野勝山間が供用開始される。したがって、それに間に合わせてこのバイパス道路が上志比インターの大月まで工事が完了し、同時に供用開始されるよう、永平寺町のお力添えをいただき、県に強く要望し、実現していただきたい。

**答** 永平寺、上志比間バイパス道路は、一般県道栃神谷鳴鹿森田線として県事業により早期完成を目標し事業を実施しているとのこと。中部縦貫自動車道の早期開通を要望すると共に、この県道の早期開通と早期に効果が現れるよう、関係市町と協議し県当局へ要望していく。



永平寺町のバイパス道路